証券コード：7899

第47期 中間報告書

平成27年5月1日～平成27年10月31日

MICS化学株式会社

株主の皆様へ

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第47期第2四半期累計期間（平成27年5月1日～平成27年10月31日）の報告書をお届けするにあたり、業務の概況及び業績等についてご報告申し上げます。

本年度前半におけるビジネス環境は「営業の概況」でご説明いたしますように、中国をはじめとする新興国の景気減速がわが国にも少なからず影響を及ぼし、個人消費は横ばい状態です。一方企業収益は円安による海外での収益アップや、原油安によるコスト低減により好調を維持しています。今後は所得雇用環境の改善が進み、消費の緩やかな回復が後押しされると思われます。食品関連の包装材事業を中心に据える当社経営環境としても、この消費回復に期待するところです。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の連結ベースの売上高は12億81百万円、営業利益は28百万円、経常利益は33百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円となりました。

当社グループは、全速前進「Full Steam Ahead！」（従来の延長上の取り組みでなく全てに改革を）をスローガンに以下の重点施策、

①営業力強化：方針展開のスピードアップ、新規開拓への重心移行

②利益重視：低利益率品種の削減、ロット集約による一括生産化

③確実な新製品開発：ニーズ調査の精度向上、他社ベンチマーク分析力の向上

④Q・C・D極める生産体制：品質向上、ロス改善、製造所・協力会社の効率向上

に鋭意取り組みました。上期経営実績をしっかりとレビューし、より筋肉体質への変革をめざして、上記重点施策の達成と通期予想の必達に向けて社員一同邁進してまいります。

なお配当金につきましては、上記業績と、安定的な配当とする方針などを総合的に勘案し、中間配当金として1株当たり4円とし、支払開始日を平成28年1月7日とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解をいただき、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年1月

代表取締役社長
三宅利定

通期の見通し

第47期（平成27年5月1日～平成28年4月30日）通期につきましては、上期業績結果と今後の重点施策の実施見込み等を踏まえ、当初見込みました利益額を引き上げました。しかしながらグローバルな政治・経済、そして安全に対する不安については、引き続き目を離すことはできません。為替動向、原油・ナフサ動向、国内景気の回復状況は、当社グループの経営を大きく左右する変動要因です。このような外的要因に強く、耐えられる筋肉体質への変革早期実現のため、全社一丸にて全速前進「Full Steam Ahead！」で頑張ってまいる所存であります。

売上高	通期予想（第47期）	2,670百万円	（前期比 4.1%増）
	前期実績（第46期）	2,564百万円	
営業利益	通期予想（第47期）	90百万円	（前期比 346.4%増）
	前期実績（第46期）	20百万円	
経常利益	通期予想（第47期）	100百万円	（前期比 148.4%増）
	前期実績（第46期）	40百万円	
親会社株主に帰属する当期純利益	通期予想（第47期）	60百万円	（前期比 210.2%増）
	前期実績（第46期）	19百万円	

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速が続くものの、世界の株式市場は落着きを取り戻しつつあります。一方わが国の経済は、実態経済面では足踏み状態が続いており、個人消費は総じて横ばい状態です。しかしながら、円安による海外での収益アップや原油安によるコスト低減などで、企業収益は好調を維持しています。その結果、今後所得雇用環境の改善が進み、消費の緩やかな回復が後押しされると思われます。

このような状況のなか、当社グループは、その他商品の減少を新規受注でカバーすべく、5層フィルム拡販活動を進めてまいりました。なかでも、SBN規格袋のラインアップ増により顧客シェアアップが進みましたが、売上高は12億81百万円（前年同四半期比0.9％減）となりました。

利益につきましては、全社あげてのコスト削減や、原油・ナフサ市場が低水準で推移したことから、営業利益は28百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上等を加えた経常利益は33百万円（前年同四半期は経常損失2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円）となりました。

用途別の売上高でありますが、食品分野では、カット野菜、介護食向け三方規格袋の増加及び水産、惣菜用途に深絞りフィルムを拡販し、その結果、8億8百万円（前年同四半期比1.9％増）となりました。

非食品分野では、新規取組案件の受注が遅れ、その結果、2億26百万円（前年同四半期比3.3％減）となりました。

商品等につきましては、前期同様に突き刺し強度の高いフィルム（SPパック）は堅調に伸びましたが、その他商品の取扱いが減少し、その結果、2億45百万円（前年同四半期比6.9％減）となりました。

用途別売上高は次のとおりであります。

売上高の内訳

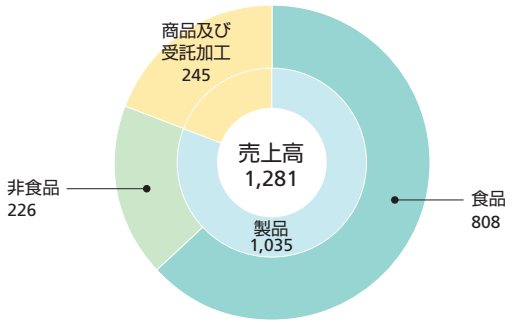
（単位：百万円）

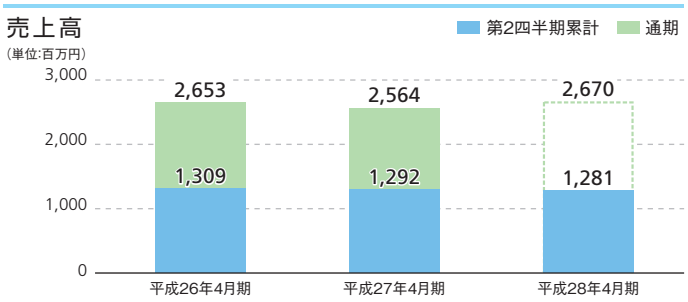
用途別		第47期第2四半期累計（自 平成27年５月１日 至 平成27年10月31日）	前年同四半期比(%)
製品	食品	808	1.9
	非食品	226	△3.3
	製品合計	1,035	0.7
商品及び受託加工		245	△6.9
合計		1,281	△0.9

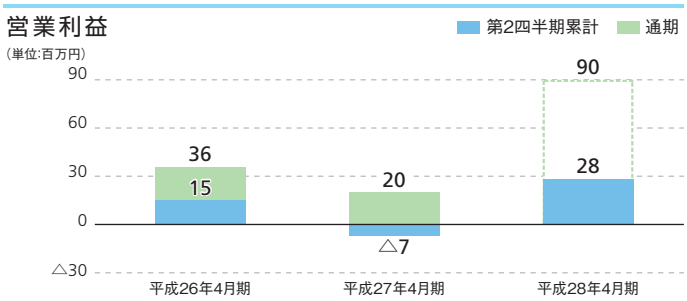
（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

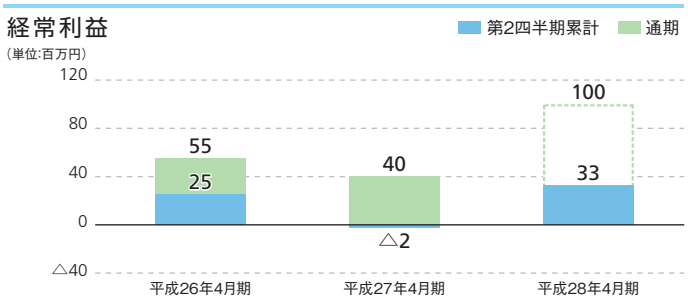
第47期第2四半期累計実績

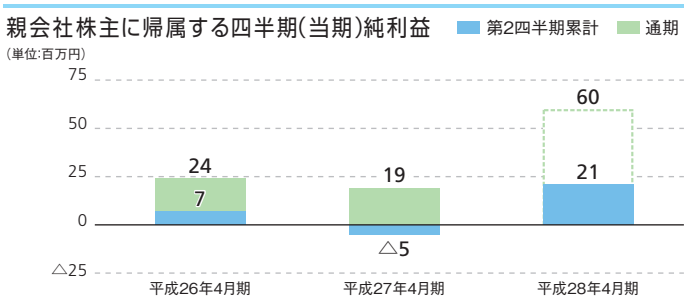
（単位：百万円）

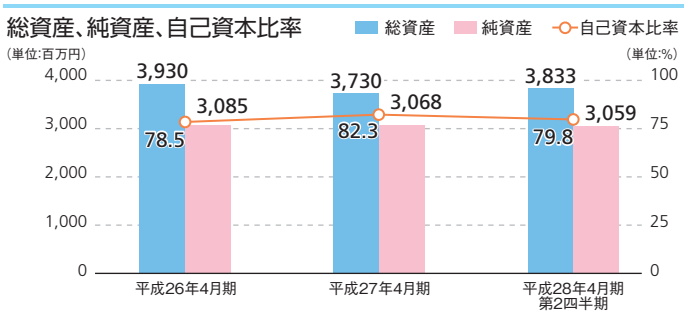


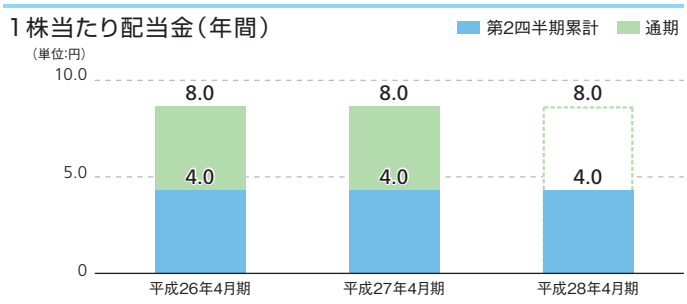






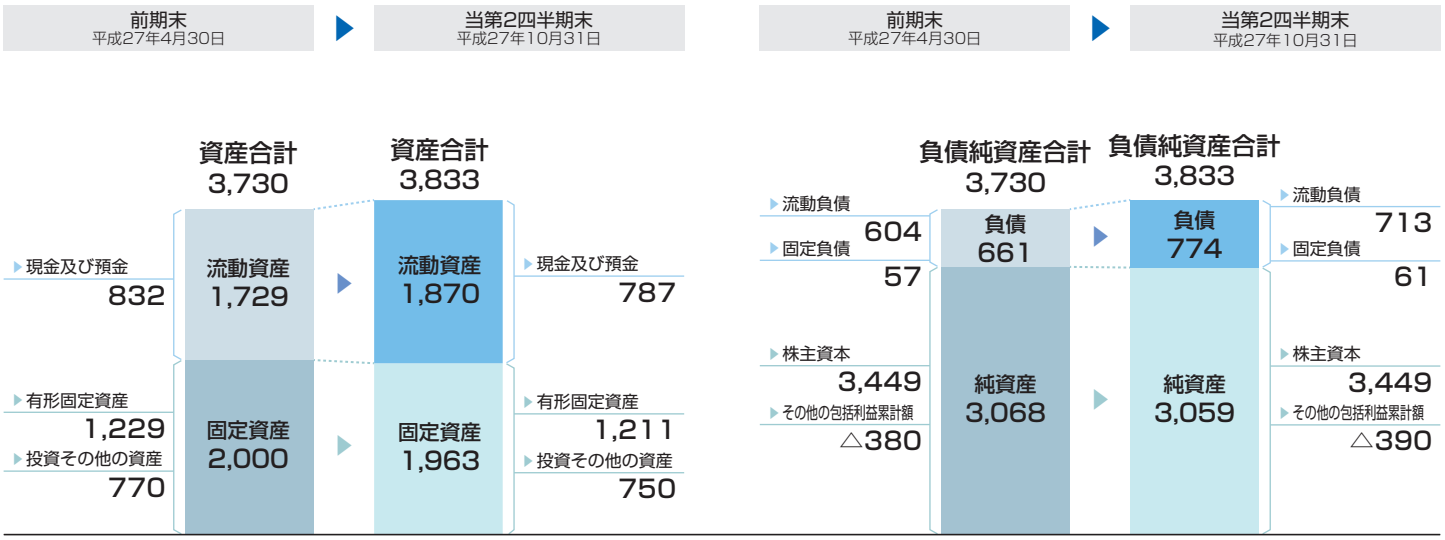






四半期連結財務諸表

連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



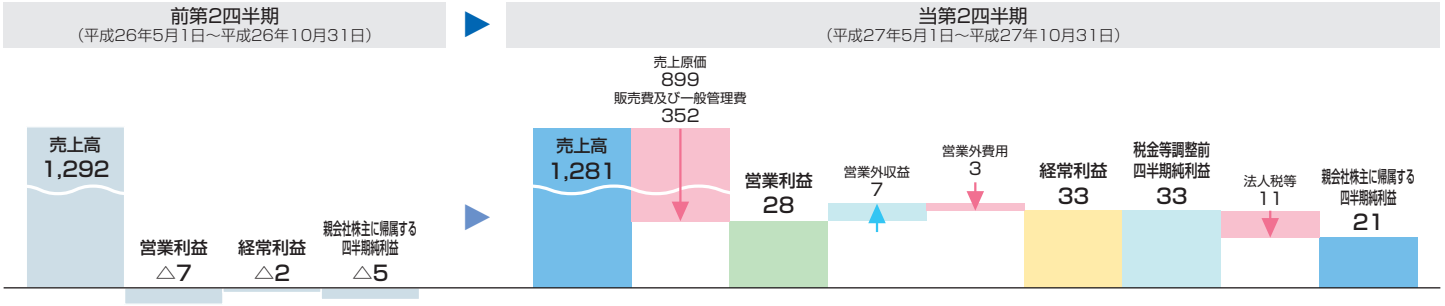
補足説明

（資　産） 当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が44百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1億54百万円、仕掛品が21百万円増加したこと等によるものであります。
固定資産は19億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に機械装置及び運搬具が25百万円、投資有価証券が20百万円減少したこと等によるものであります。
この結果、総資産は、38億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3百万円増加いたしました。

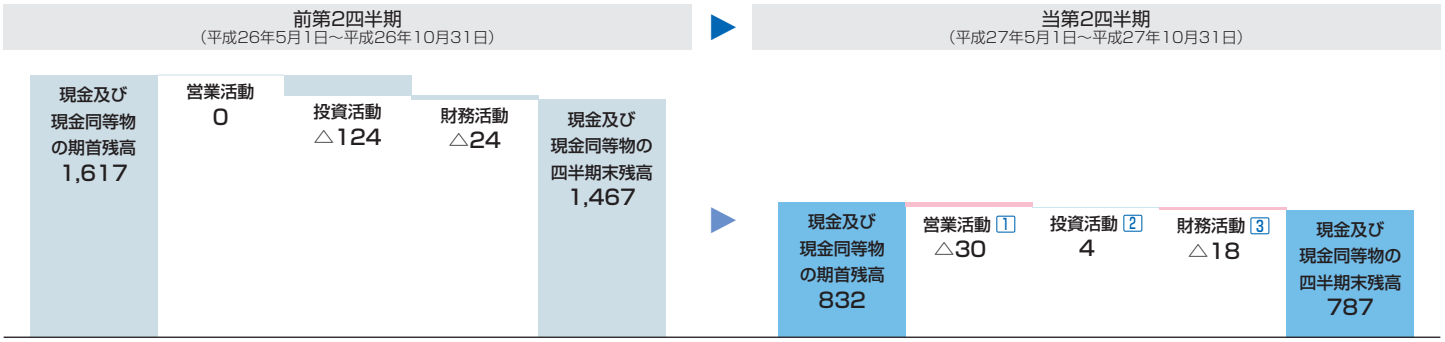
（負　債） 当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が51百万円、賞与引当金が13百万円、その他が29百万円増加したこと等によるものであります。
固定負債は61百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主にその他が12百万円増加したものの、長期借入金が1百万円、役員退職慰労引当金が7百万円減少したこと等によるものであります。
この結果、負債合計は、7億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億12百万円増加いたしました。

（純資産） 当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は30億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円を計上したものの、剰余金の配当20百万円による減少、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したこと等によるものであります。
この結果、自己資本比率は79.8%となりました。

連結損益計算書の概要（単位：百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書の概要（単位：百万円）



補足説明

1 営業活動の結果使用した資金は30百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益33百万円、減価償却費46百万円、仕入債務の増加額51百万円等があったものの、売上債権の増加1億54百万円等があったことによるものであります。

2 投資活動の結果得られた資金は4百万円となりました。これは有価証券の払戻による収入9百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出5百万円等があったことによるものであります。

3 財務活動の結果使用した資金は18百万円となりました。これは長期借入金返済による支出1百万円、配当金の支払額20百万円等があったものの、短期借入金の増加額5百万円等があったことによるものであります。

会社の概況

（平成27年10月31日現在）

社名	MICS化学株式会社
資本金	７億74百万円
創業	昭和34年２月
従業員	75名（他に臨時雇用者12名）
主要な事業内容	多層チューブフィルムの製造、販売 ウレタンチューブフィルムの製造、販売 グラビア印刷ならびに製袋加工 シュリンクラベルフィルムの加工販売 その他合成樹脂製品の販売
本社	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158−89 電話　0561−39−1211 URL：http://www.c-mics.com/

役員

代表取締役社長	三宅利定
取締役	伊藤久美
取締役	権藤英喜
取締役	丸山　等
取締役	伊藤　聡
取締役	後藤もゆる
常勤監査役	長谷川　隆
監査役	田中孝治
監査役	佐原司郎

会計監査人　有限責任監査法人トーマツ

事業所　（平成28年１月７日現在）

札幌営業所	札幌市手稲区新発寒６条1－1－5
仙台営業所	仙台市青葉区本町1－14－18
東京営業所	東京都中央区日本橋大伝馬町17－1
名古屋営業所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158－89
大阪営業所	大阪市福島区福島1－3－11
広島営業所	広島市南区京橋町9－3
福岡営業所	福岡市博多区豊1－8－21
本社製造所	愛知県愛知郡東郷町諸輪北山158−89
東京製造所	埼玉県越谷市小曽川字居377
札幌製造所	札幌市手稲区新発寒６条1－1－5

子会社

エイワファインプロセシング株式会社	埼玉県越谷市大間野町３丁目108番地
米可思化学商貿（蘇州）有限公司	中国江蘇省蘇州市高新区狮山路88号

ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、取扱製品などに加え、IR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。
http://www.c-mics.com/

株式の状況

（平成27年10月31日現在）

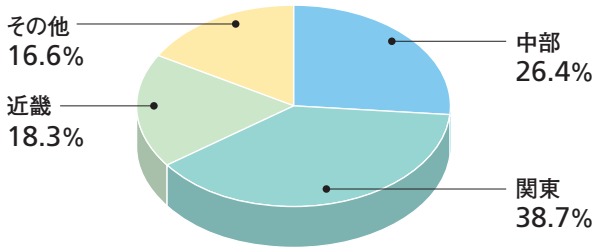
発行可能株式総数	23,850,000株
発行済株式の総数	5,850,000株（自己株式610,606株を含む）
株主数	1,471名

上位10名の株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
盛田エンタプライズ株式会社	2,608,000	49.78
名古屋中小企業投資育成株式会社	210,000	4.00
MICS化学従業員持株会	142,374	2.71
MICS化学取引先持株会	135,500	2.58
株式会社三井住友銀行	120,000	2.29
伊藤公一	59,200	1.13
奥田耕三	58,000	1.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	54,200	1.03
歌川勝久	50,000	0.95
八木英司	43,300	0.82

（注）当社は自己株式610,606株を保有しておりますが、上記からは除外しております。また、持株比率については自己株式を控除して計算しております。

地域別株主構成



株主メモ

事業年度	５月１日～翌年４月30日
期末配当金受領株主確定日	４月30日
中間配当金受領株主確定日	10月31日
定時株主総会	毎年７月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話 0120－232－711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所　JASDAQ（スタンダード）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL　http://www.c-mics.com/ （ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。